

# ネット動画配信の参入による視聴環境変化が公共放送に与える影響

○宍倉 学 (Shishikura Manabu)、春日教測 (Kasuga Norihiro)

**Keywords** : 公共放送、ネット動画配信、視聴選択、コンジョイント分析

## 1 目的

近年、国内外の多様な背景をもつ事業者がインターネットを通じた動画配信サービスに参入し、サービスを開始している。また放送事業者によるインターネット配信への進出も進んでいる。これらサービスは、制度上は放送とは異なるサービスと位置付けられるが、利用者からみた場合は類似もしくは代替的なサービスとなっている。一方、これら新しいサービスは、広告の有無、料金、利用条件、コンテンツの品揃えなど、提供されるサービスの形態は多様なものとなっている。本研究では、これらネット動画配信サービスの普及が、公共放送をはじめとする従来型の放送サービスのコンテンツ利用（需要）に与える影響、及び公共放送により提供されている各種サービスに対する支払意志に与える影響について分析を行う。

## 2 方法

本論文では、2021年3月末に独自に行ったアンケート調査結果をもとに分析を行う。なお調査の概要は以下のとおり。調査実施日：2021年3月末、調査内容：「メディア信頼及び視聴行動に関する調査」、回答者数：2165、調査方法：インターネット調査。

## 3 結果

分析については現時点で途上段階にあるが、既に確認できている点として、公共放送の視聴総本数を被説明変数、個人属性等を説明変数とした回帰分析を行ったところ、民間放送の視聴本数を被説明変数とした場合と異なり、公共放送の場合は、所得と学歴が有意に正の関係を示していることなどが確認できている。このことは、公共放送のサービスは、特定の層に視聴者に向けたものとなっている可能性があることを示している。

## 4 結論

ネット動画配信サービスの普及は、既存の放送サービスの利用に対してネガティブな影響を与えることが予想されるが、公共放送のような利用者が特定の層に限定されるサービスについては、その影響は限定的なものになる可能性がある。

### 【主要参考文献】

宍倉学 (2018) 「メディア市場における新規参入の影響—情報財の中立性と質—」『情報法制研究』Vol.3, 15-28.

実積寿也・春日教測・中村彰宏・宍倉学・高口鉄平 (2018) 『OTT 産業を巡る政策分析 ネット中立性、個人情報、メディア』勁草書房

日本民間放送連盟客員研究会編(2020) 「インターネットを通じたテレビ番組の視聴について」『DX時代の信頼と公共性—放送の価値と未来—』11章、勁草書房